



2026. NO

156



錦町議会だより

はろー



**完成間近
くま鉄第四橋梁**

目次

- 全線開通を待つくま川鉄道 2
- 第1回定例会 3・4
- 一般質問一覧 5
- 4人が一般質問 6～9
- 調査報告 10～13
- 議会のうごき・軌跡 14

令和8年9月20日、くま川鉄道が 全線運行再開決定！

2020年7月豪雨で被災し、いまなお一部区間で運休が続いているくま川鉄道が、9月20日に全線運転を再開します。

豪雨で流出した、球磨川第四橋梁の復旧工事が7月中に完了する見込

みで、試運転調整など安全管理に必要な工程を踏んだ上で、全線再開となります。

先日、総務建設常任委員会議員で球磨川第四橋梁の復旧工事視察をし、くま川鉄道の永江社長から話を聞くことが出来ました。

工事が進む球磨川第四橋梁の特徴は、橋が鋼製ガーター橋からトラス橋になったことです。永江社長によると、トラス構造は、△形の単位に繋ぎ合わせ固定した骨組み構造で、△形の強さを応用した軽量かつ非常に高い強度と剛性を誇るとのことです。段ボールの断面と同じ構造です。

また、桁については、川の流れを妨げない円柱にし、桁の数を減らすことで川の増水時にも対応できると話されました。

球磨川第四橋梁の特徴は、錦町側から相良村側に向けてカーブしていることです。

「所さんの目がテン！」というテレビ番組で紹介されたこの橋は、「少しでもカーブをかけながら造るのが難しかった」と作業員の方が話されていました。

美しいカーブを描く 球磨川第四橋梁

今回の議会だよりでは、その見事にカーブしている球磨川第四橋梁を採用しています。永江社長の話では、「完全運行になると、全国の鉄道ファンの方々がこの球磨川第四橋梁を観に来られると思います。なぜなら、カーブした橋梁は全国的にないからです。」との事。

いよいよ、人吉球磨が一つにつながる日が来ます。全国から多くの方に来ていただき、災害から立ち直ったくま川鉄道の姿を見てもらい、地域皆で祝い、迎え入れましょう。

全線開通が大きな復興の象徴になることでしょう。

文責 早田 和彦



令和8年 錦町議会

第1回

定例会

令和8年度当初予算

67億2,480万6千円

(一般会計) を可決

「人の和を大切にし 老いても安心して暮らせる町 若人に夢と希望が持てる町」の実現に向け、農林業・商工業振興、介護・福祉・健康、教育、消防・防災、社会資本整備に係る各種施策の実施。小中学校給食費無償化事業などの子育て支援事業を継続。

屋外スピーカー設置費、黒辺田野橋架け替えに伴う道路整備費、新大谷川橋補修費など。

(各常任委員会調査報告書は P10 ～)

補正予算 1 億 7,958 万 8 千円 (一般会計) を可決

令和8年第1回定例会は、3月10日から17日までの8日間の日程で行われ、令和8年度各会計当初予算6件のほか、令和7年度各会計補正予算4件(基金への積み立て、各事業の確定に伴う調整)、条例等7件、人事案件3件などが上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

令和8年度の各会計当初予算に関する議案については、初日に町長から提案理由の説明があり、11日から16日(14・15日は休日のため休会)の4日間、総務建設、厚生文教経済の2つの常任委員会による調査、17日に各常任委員会の調査報告のあと質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決した。

令和8年度の各会計当初予算総額は、94億2,769万4千円。うち一般会計予算は67億2,480万6千円で、前年度より2.2%の増となった。

なお、今回の一般質問には、4人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例制定・改正

① 錦町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
4月から始まる「こども誰でも通園制度」の実施に伴い、基準を定めるもの。

② 錦町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
基準の一部を改正する内閣府令により所要の改正を行うもの。

③ 錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に準じ、通勤手当等の取扱いについて改めるもの。

④ 錦町行政手続条例の一部を改正する条例
デジタル規制改革一括法に基づき、公示の方法について改めるもの。

⑤ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
学校医等の医師への報酬について、医師会が提示する額へと改めるもの。

⑥ 錦町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
使用料の算定に係る消費税等について、水道・下水道と同様の取扱いを行えるよう所要の改正を行うもの。

その他

① 町道路線の認定について
昭和万吉原線
(路線番号171)

人事案件

① 錦町固定資産評価審査委員会委員の選任について
住所 錦町大字木上北

氏名 守屋 節郎
1759番地3

② 錦町教育委員会委員の任命について
住所 錦町大字西2899番地4

氏名 徳田 雅人

③ 監査委員の選任について

住所 錦町大字木上南891番地
氏名 池田 秀晴

報告

①和解及び損害賠償額の決定について

第1回臨時会

令和8年2月2日に行われ、一般会計の補正予算（2件うち専決処分1件）、条例改正（1件）、契約（1件）が上程され、原案のとおり可決した。

なお、補正（2億9,951万9千円）の主な内容は、物価高騰対策として町民1人1万円の商品券を配布する全世帯商品券配布事業、高校生以下の子ども1人当たり2万円の子育て応援手当支給事業、農業関係者への資材価格高騰対策支援事業補助金など。

条例改正

①錦町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

地方公共団体情報システムの標準化移行に伴い、個人番号の利用条例を改めるもの

契約

①町道松里永野線（黒辺田野橋）橋梁上部工事請負変更契約について

契約金額

変更前 81,290,000円
変更後 83,684,518円

契約の相手方

福岡県北九州市若松区

大字安瀬62番地3

松田建設工業株式会社



整備が進められる町道松里永野線・黒辺田野橋

第2回臨時会

令和8年3月30日に行われ、一般会計の補正予算（5件）、条例改正（1件）、契約（1件）が上程され、原案のとおり可決した。

なお、一般会計の補正（9,269万6千円）の主なものは、グループホームへの地域介護・福祉空間整備事業補助金、各種事業の確定に伴い事業費の減額と財源として取り崩した財政調整基金への積戻し、減債基金への積立てなど。

条例制定・改正

①錦町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部を改正する政令により保険料の減免について改めるもの

契約

①町道平野線道路改良工事（平野2区）請負契約について

契約金額

83,160,000円

契約の相手方

錦町大字木上西1007番地

マルナカ工業有限会社

<物価高騰対策>
錦町にぎわい商品券を配付します

○商品券の内容：町民1人あたり1冊10,000円(500円×20枚)
○配付対象者：令和8年2月1日時点で町内に住民票を有する方
※世帯ごとにとまとめた配付となります。
○利用期間：令和8年4月1日(水)から令和8年6月30日(火)まで
○商品券の利用対象店舗
※後日一覧を公開します。(下記、商品券配付事業サイトにて随時更新)

配付方法 **特設会場** 受取 または **郵送**
3/13(金)～ひみつ基地ミュージアム 特設会場 4/1(水)～順次配達

期間内、早期に利用されたい方は特設会場での受取をおすすめします。

3月 お受取りには、顔写真付きの身分証明書をご持参ください。

日 月 火 水 木 金 土
* * 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31 4/ 1 2 3 4

①土・日・祝日は大変な混雑が予想されます。時間には十分に余裕を持ってお越しください。
②…木上・一武 ひみつ基地ミュージアム内 特設会場にてお渡し。
(平日9時～17時、土曜9時～15時)
3/13～25の期間は特設会場にて、どなたでも予約なしで受取りが可能です。混雑を避けるため、優先順を設けてさせていただきます。地域ごとに設定された最大回数を超過した場合は、後日順位の順繰りでの受取にもつなぐ場合がありますので、ご協力いただきますようお願いいたします。
③26～31の期間は、3/25までに専用予約フォームからご予約いただいた方のみ、ひみつ基地ミュージアムの入館力カウンターにてお受取りいただけます。
④4/1以降 は、郵送配付のみの対応となります。

詳しくは 商品券配付事業サイト
<https://r7-nishiki-nigiwai.com>
サイト内にて最新の店舗リストや専用予約フォーム、受取時の留意点などを掲載しております。会場前にお立ち寄りください。

商品券配付事業サイトへは 特設会場公式サイト 及び 観光協会公式サイト「特を旅する情報」よりアクセスいただけます。
この商品券は、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用しています。

お問い合わせ (一社) 錦町振興協会 Tel.38-3200 (令和7年度物価高騰対策商品券配付事業実行委員会)

賑わい商品券チラシ

令和8年第1回錦町議会定例会一般質問一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
吉田議員 (P 6)	物価高騰対応重点支援給付金	① 物価高騰対応重点支援給付金、町民の方々が楽しみにしておられると思う。そこで次回があるなら高齢者世帯への支援の考えは。 ② 物価高騰対策で町水道加入世帯への水道料金支援は。
	農業振興と災害軽減対策	① 地域を支えている小規模農家に限定した農機具補助の考えは。専業農家への支援補助は。 ② 本町産農産物売り込みPRは。 ③ 田んぼダムの今後の取り組みは。
	町民サービス支援とくま川鉄道開通イベント開催	① 生ごみ乾燥機補助の更なる推進と増額の考えはないか。 ② くま川鉄道、本年夏に開通予定と聞くが、本町でのイベントの計画はないか。
丸小野議員 (P 7)	錦町の小・中学校の現状と今後	① 小・中学校の児童・生徒数の現状と将来予測と先生の予測。 ② 義務教育学校の検討は（メリット・デメリット）。 ③ 今後（将来）の義務教育。
	基金の運用	① 基金運用の状況。 ② 債券（公債）評価額と対策は。 ③ 一括運用の検討は。
石松議員 (P 8)	農業の振興	① 錦町の稲作の現状は。 ② 米農家の安定的な経営を進めるための政策は。 ③ 耕畜連携の取り組みは。 ④ 農地の集約・集積は。 ⑤ 経営継承事業の取り組みは。
	ふるさと納税	① 近年5年間の寄附金額と件数の推移は。 ② 減収になった要因は。 ③ ふるさと納税返礼品の数と人気返礼品は。 ④ 返礼品の選定と価格の設定は。 ④ B級商品など取組む考えは。 ⑤ ふるさと納税のPRや周知の方法は。 ⑤ 新ルールの中で今後どのように進めるのか。 ⑥ 商品開発の支援。 ⑦ 委託業者の選定。 ⑧ ふるさと納税を観光につなぐ考えは。 ⑨ ふるさと納税を増やす戦略は。
早田議員 (P 9)	高校授業料の無償化による管内高校への影響	① 錦中からの学区外進学者の割合は。 ② 高等学校等就学支援金制度の内容は。 ③ 無償化により、地元高校を選ばず私立高校への入学希望者が多くなることが懸念されるが。 ④ 前期・後期試験の見直しを県に要望すべきでは。
	道路の維持管理	① 停止線、標識等の引き直し、設置。 ② 植栽や道路両端の泥の撤去。
	企業誘致の推進	① 首都圏の企業への誘致活動の結果と反応は。 ② 誘致のための土地の整備計画はあるのか。

一般質問

Q & A

町政の

今回は4人が登壇
(要約掲載)

ここが聞きたい！

物価高騰対策

地域を守る為の支援とPRを

よしだ しんじ 議員
吉田 眞二

すい。今後、財源の確保や他世代との公平性を考慮し検討していく。

吉田 物価高騰対策で町水道加入世帯の水道料金支援の考えは。

地域整備課 水道料金の支援で負担を減らすことができる点、或いは未加入の方の加入促進につながるなど利点があるが、町民でない方も町水道を使用されている。水道使用料の減免等の支援を行うことは、平等性の観点からも望ましくないと考える。

町長 あらゆる角度から検討させていただく。

吉田 専業農家と地域を支えている小規模農家に農機具補助の考えは。



泥上げ・共同作で水路を維持

農林振興課 新年度予算で、高収益野菜及び工芸作物生産機械施設導入事業に3,000万円を計上。出荷販売を目的とした農作物を作付けされる農業者であれば小規模、専業農家の区別はないが、採択ポイント制で新規就農者の初期投資やスマート農業機械の導入に比べ採択要件は厳しい。

吉田 なぜ小規模農家への補助が必要かというと、用排水路の土砂上げ、清掃作業の参加者は、小規模、兼業農家の方々が主に行われているのが現状である。これからも、頑張っている地域を守っていただくために支援、補助を願う。

町長 担当課に相談して、しっかり

りと支援していきたい。

吉田 本町の農産物売り込みPRは。

農林振興課 錦町は県の農業コンクールで表彰を受けるほどの梨・桃・栗の生産の町。お出かけ知事室において、県南地域でもファーマーズマーケットの開催を要望された。錦町観光協会や、豊かなむらづくり全国表彰事業で農林水産大臣賞を受賞された錦町農産物等出荷協議会との連携を強化し、SNS等を活用した情報発信を行なっていく。

吉田 梨・桃・栗、特にお米の食味コンクールを開催する考えはないか。

町長 県南でもナンバーワンの農産物の出荷の町。アピールしていくことが本当に重要と思う。

吉田 もちろんJAくまの協力を得ながら、食味向上の一つとして、食味コンクールの開催と錦町と一目でわかるPRを今後、検討されたい。

錦町の小中学校の現状と今後

丸小野 小・中学校の児童生徒数の現状は。

教育振興課 現在の小学校1年生

は90人となっている。西小学校は43人2学級、一武小学校は33人で1学級、木上小学校は14人で1学級という状況である。また、中学生は各学年100人を超えており、各学年3学級が確保出来ている。

丸小野 児童生徒数の将来予測は。

教育振興課 令和8年度の小学校の入学予定者は、75人。最も多い令和10年で84人、最も少ない令和13年で53人と急激に減少する状況だ。地



まるおの せいいち 議員
丸小野 聖一

区ごとにも大きな差が見られ、特に

木上小学校の令和12、14年の入学予定者は1桁の児童数となり、例えば1・2年生を一つの学級とする複式学級での編成となる可能性もある。

丸小野 先生数の予測は。

教育振興課 児童数の減少に伴っ

て、学級数の減少が見込まれるので、その配置は減少する。一方で全国的に特別な支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、特別支援学級の増加に伴い教職員が不足する状態はなかなか改善されない傾向だ。

丸小野 義務教育学校の検討は。

教育振興課 今現在、義務教育学

校の検討は行っていない。まずは木上小学校の学級編制をどの様に行うか、様々な行事等の取組にも影響を及ぼすので、他の校区との教育均衡が図れるか協議する段階である。

丸小野 義務教育学校のメリット・

デメリットは。

教育長 最も大きなメリットは9

ヶ年小中一貫教育により子供たちの発達段階合わせた柔軟なカリキュラム編成が出来ることだ。今後改正される学習指導要領の目玉である学校独自の教育課程を編成する上でも自由度が増すという利点が考えられる。他には、施設を共有することで財政負担の減少が挙げられる。

デメリットについては、9年間人間関係も含めた教育環境が変わらな

い事により、これからの時代、特に重要な教育目標の一つとされている社会性の育成、或いは社会への適応力が十分に身につくかという懸念がある。

丸小野 大きな話をすれば、子供

たちが小中学校でどの様な教育を受けるかで日本の将来は決まると考える。1つの選択として義務教育学校もあり、メリット・デメリットもある中で、今後も錦町にとって最善の義務教育を模索・検討する事を願う。

児童生徒数の予測 (令和8年3月1日現在)

		合計	西	一武	木上	
0歳	R7年度	64	32	23	9	R14入学
1歳	R6年度	53	33	17	3	R13入学
2歳	R5年度	70	43	22	5	R12入学
3歳	R4年度	80	42	27	11	R11入学
4歳	R3年度	84	42	27	15	R10入学
5歳	R2年度	73	31	21	21	R9入学
6歳	H31年度	75	37	23	15	R8入学
7歳	H30年度	90	43	33	14	小学1年
8歳	H29年度	88	40	27	21	小学2年
9歳	H28年度	93	46	32	15	小学3年
10歳	H27年度	99	42	39	18	小学4年
11歳	H26年度	100	44	34	22	小学5年
12歳	H25年度	115	53	43	19	小学6年
13歳	H24年度	107	50	35	22	中学1年
14歳	H23年度	103	45	36	22	中学2年
15歳	H22年度	115	46	40	29	中学3年

物価高騰対策支援給付金について



まつこ 議員
石松 まゆ子

石松 小中規模の農家の方も非常に影響を受けられている。交付額を一万円程度に設定していただければ多くの農家が助かると思うが、再検討は。

農林振興課 交付金の範囲内で前向きに検討する。

農地の集約・集積について

石松 物価高騰対策の給付金については、算出された交付額が5万円以上（170万円以上の経費が必要）となっている。錦町の認定農業者は113名、農業経営体数は571名である。何割の農家がこの対象になるのか。また、どのような営農規模で設定されたのか。

農林振興課 令和5年同様に経費の3%を補助率と設定し、一定規模以上の大きく影響を受けている農業者への支援に充てる制度設計とした。今回の実施の試算は約170名となる見込み。

石松 高齢化に伴う離農が進む中、農地バンクなどを利用した地域中心の経営帯への集積が不可欠である。現状と協力金などの交付条件は。また、個人間の貸借、売買における負担軽減策としての町独自の協力金の仕組みづくりは。

農業委員会 令和6年度の集積率が61.6%である。地域が一体となつて農地バンクの貸し付けを行う地域集積協力金と地区内の一ヘクタール以上の団地面積を増やす集約化奨励金がある。地域のリーダーに協力を

仰ぎながら集約化を進める。

町長 受けて借り手が減少している中で、現実問題をしっかりと国・県に届けながら進める。

ふるさと納税委託業者の利益が高いと感じる

石松 ふるさと納税は、人口減少や公共施設の老朽化に対応するための重要な自主財源である。返礼品の選定と価格改定は。

企画観光課 総務省が定める地場産品基準に適合すること。価格は返礼品の調達費用を3割以下で募集、費用の総額が5割以下とする。

石松 球磨中央高校生ととの連携で商品開発に取組んでおり、地域経済活性化への期待が高まっている。町としての支援は。また、人吉海軍航空基地活用事業における新商品開発委託料（一千万円）の使途や委託業者の選定基準について尋ねる。

企画観光課 高校生の取り組みについては、チャレンジショップ事

業として支援している。商品開発委託料一千万円については、代行業務を委託している業者に随意契約で委託。商品開発については試作研究開発費が346万円、調査及び活動費・コンサルティングなどの経費362万円である。

石松 委託業者の利益が高いと感じる。令和7年度に寄付金額が減少している。費用対効果を十分に検討し、地域活性化につながる運用を求める。



ふるさと納税返礼品 第1位

高校授業料の無償化による

管内高校への影響は

早田 以前から、一定の割合で学区外進学者がいたが、現状はどうか。

教育振興課 毎年約一割強の生徒が学区外へ進学している。特にスポーツや医療系に目標を持って進学している。

が学区外へ進学している。特にスポーツや医療系に目標を持って進学している。

懸念、中学校卒業生徒の減少

早田 無償化により、地元高校を選ばず私立高校への入学希望者が多くなる懸念されるが。

教育長 授業料が無償化になるとはいえ、私立高校は入学金や施設費など納入する金額は公立高校と比べ差がある。経費を含めると授業料の無償化が地元外の私立高校への進学にはつながりにくいと考えている。

ただ懸念していることは、管内の中学校を卒業する生徒数の減少だ。将来につながる高校教育の機能、選択肢が一つでもなくなったときに、地元外への流失は避けられないと予想される。

学力向上を目指すなら、高校の前期・後期試験の廃止を県に要望すべきでは

早田 今、高校入試制度では前期・後期と2つの試験がある。学力向上を目指すなら、この試験の見直しを県に要望すべきでは。

教育長 私も全く同じ考え。熊本市を中心とした学区においては、受験機会の複数化で大きな利点があったが、都市部を除いた管内では、教科の学力試験を受けることなく入学する生徒が多いため、受験学力意識、学力の低下につながる。入試の一本化は、学校現場からも高校側も含めて強く出されている。一本化の要望は、現在でも県に届いており、高校の在り方全般を含めて検討がなされるものと思う。私も機会を捉えて、要望していく。

事故の事前防止に、停止線・標識を

早田 町内の交差点には、停止線や標識がないところが多い。計画的に設置、線引きできないか。

総務課 区画線等の修繕については、安全確保の観点から重要と認識しており、今後においては点検体制の充実、事故防止の観点を重視し計画的な維持管理に取り組んでいく。

安全確保のため道路の植栽や堆積土砂の撤去を

早田 見通しが悪い道路の植栽や泥の撤去を要望する声があるが。

地域整備課 地元からの要望をまとめ、毎年度県と協議を行い要望を挙げている。土砂の堆積については、再度調査をし、令和8年度に一括して要望する。また、国道の植栽は、安全面から視認性が確保できるよう早急に県に要望する。



わさだ かすひこ 議員
早田 和彦



堆積する土砂と草

総務建設常任委員会 調査報告書

調査
案件

- ・令和8年度錦町一般会計予算
- ・令和8年度錦町水道事業会計予算

- ・令和8年度錦町下水道事業
会計予算に係わる総務建設常任
委員会所管事項

調査の結果及び意見

○総務課

(行政係)

組織、人事の総合調整において、職員採用が厳しい状況にある。採用試験の時期の見直しや適正な募集人数の算出を行い、将来を見据えた組織の構築に努められた。

行政係には、町政の円滑な運営を支える総合調整役として大いに期待したい。

(財政係)

一般会計予算額は、6,724,806千円であり、前年比147,618千円、2.2%の増となり、過去2番目の予算規模となった。

歳入のうち繰入金は、621,137千円と前年比29,337千円、5.0%の増となっており、人事院勧告による人件費、住民サービス等に掛かる扶助費、公債費への負担が厳しい状況にある。

予算の執行に際しては、引き続き財政の健全化に努められたい。

(消防交通係)

消防設備費において、消防積載車4台、フローティングストレーナーの購入が予定されている。消防積載車は機動力確保に、フローティングストレーナーは、少ない水量での水利確保ができるので、火災時の初期消火において大きく期待したい。

防災施設整備事業については、屋外スピーカーの新設、整備が計画され、更に錦町総合防災マップ作成も予算化された。また、新設された防災士連絡協議会は、防災士の育成や地域防災のリーダー育成、避難所運営等を目的として設立された。平時からの防災意識高揚に大きく貢献できると考える。



積載車貸与式 (消防係より提供)

地方バス運行等補助金については、前年度より385千円程度の減となっている。これは、県からの補助金がコミュニケーション交通施策に対する事業(集合タクシー)に優先配分していくため、令和4年度から段階的に引き下げられたことによるものである。

(管財係)

令和7年度に整備が完了した一武八敷分譲地については、現在1区画が契約された。

残りの区画については、広く周知をされ全区画の早期契約を望む。

○企画観光課

(企画情報調整係)

ふるさと回帰推進事業では、「地域おこし協力隊」前年度まで2名分報酬が計上されていたが、今年度は1名分の報酬が計上となっている。前年度の予算計上に関わらず隊員の確保が困難であったためである。本年度予算に対しても、担当課で職員の募集内容の工夫が必須である。

また、東京にしき会が開催されているが、今後は、大阪や名古屋などの大都

市圏でもにしき会を開催されることで、地域おこし協力隊員の勧誘にも期待できると考える。

移住体験や空き家活用など様々な事業が計画されている中で、今後5年、10年と空き家の件数が増え続けることが予想されることから、空き家のリフォームを検討されることにより、県外からの移住体験に繋がる

と期待する。
企業誘致は、雇用の場や町財政及び地域経済活性化等に寄与するものであるから、最大限に努力された

(地域振興係)

ふるさと納税に関しては、減少値が著しい。今後はプロジェクトチームで寄附額の回復に努められたい。このことは本町に対し、貴重な財源であり将来の予算執行に重要である

と考える。
観光面では、人吉海軍航空基地資料館、ゼンカイミート、錦バイオマス発電所と連携して企画展などを計画しながら平和学習及び観光の拠点として役割を果たすSDGsで

はあるが、前年度の国補助17,420千円が期限終了となった。今後の展開に期待する。

○税務課

町税歳入額は1,171,701千円で、対前年比減の27,348千円、2.2%の減額となっている。予算総額の17.4%を占める主要な財源であるので課税客体の把握と厳しい経済状況下であるが、収納に最大限の職務遂行に取り組まれたい。

○地域整備課

現在、2名の道路パトロール等の管理業務を令和6年5月より採用し道路補修、支障木の伐採等管理業務を実施され、また、今回、道路管理に必要な畔草刈り機の購入予定である。町民の要望にさらに速やかな対応が可能となる。道路等、作業と考えるが作業員の事故防止に努められたい。

緊急自然災害防止事業では、本年度、法面対策、護岸工事等に73,900千円増額計上されている。町民の更なる安心安全のため計画的に

実施されたい。

町管理の河川の浚渫事業は、特に町民の要望もあると考える。引き続き実施を望む。

住宅管理費について、空き家となった新指杉住宅一棟の解体工事を計画してある。

(水道事業会計・下水道事業会計)

水道事業収入については、水道料金で前年比約20,000千円の増となっている。主な要因としては、

接続件数、戸建て住宅や民間アパートの増加と水道料金の改正による増収と考える。14,000千円の一般会計からの繰入金減額は評価したいが、本管敷設地域の未加入世帯への加入促進に更なる努力を望む。

上水道・下水道共に安定的な経営を目指し、更なる経費節減と加入率の向上を図られたい。

○出納室

公金及び有価証券の安全性の確保と適正な会計事務に努められたい。

○議会事務局

議員報酬及び期末手当が改定により、対前年比1,288千円増加し、議員共済組合負担金が議員年金受給者の減少により、対前年比696千円の減額となっている。
令和6年度から運用開始された「タブレット端末」の活用により、ペーパーレス化と事務負担の軽減に努められたい。



調査の様子

厚生文教経済常任委員会 調査報告書

調査
案件

- ・令和8年度錦町一般会計予算
- ・令和8年度錦町国民健康保険特別会計予算
- ・令和8年度錦町介護保険特別会計予算

- ・令和8年度錦町後期高齢者医療特別会計予算に係わる厚生文教経済常任委員会所管事項

調査の結果及び意見

○住民福祉課

(住民係)

マイナンバーカード保有率86.2%で全国・県平均より高い率となっている。マイナンバーカードが保険証・免許証など機能が拡充されている。今後も町民の理解を得ながら保有率の向上を図りたい。

外国人の在留カード期限が切れる前にマイナンバーカード更新をすることも、周知をお願いする。

結婚相談事業においては、婚活事業で一組でも多くの成婚がされるよう取り組みたい。

(福祉係)

障がい者福祉支援は国・県の予算額が増加される中「障がい者福祉計画」にもとづき、障がい者が安心して生活出来るよう期待したい。

(子育て支援係)

子育て世代の支援は最も重要な行政課題であり、子宝祝い金制度、子ども医療費助成、児童手当、幼児教育と保育の無償化など安心して子育て出来る施策を講じられ環境づくりに期待したい。

(環境係)

収集箇所及び人件費等の増によりゴミの収集委託料は増加しているが、人口減によりゴミも減少傾向にある。クリーンプラザへのゴミ搬入も減少傾向であり一定の効果が認められる。更なる経費節減を目指し、ゴミの減量化に努められたい。

○保険政策課

(保険・年金係)

国民健康保険特別会計においては、全体的に減少傾向にある。このことは、被保険者数が1,936人(91人の減)となったことが一つの要因と考える。更なる健診受診率の向上を目指し、疾病の早期発見、重症化予防に努められたい。

人間ドック助成事業では、日帰り、1泊2日ともに男性3万円、女性3万5千円の助成が行われているが、受診料が上昇していることから、事業内容の充実を望む。

後期高齢者特別会計においては、被保険者数が1,902人(43人の増)となり、国保被保険者数より増える見込みである。後期高齢者医療費は入院が6割を占めているので、引き続き重症化予防を努められたい。

(高齢者支援係)

(地域包括支援係)

介護保険特別会計においては、昨年、

保険料の値上げが行われた。被保険者数は3,506人(46人の減)で、近年は、ほぼ横ばいで推移している。最も重要なのは、高齢者の健康寿命を延ばすことであり、シニア層の方々が体育、文化活動や福祉に参加しやすい制度や組織の変革が必要と考えるので、各担当課と連携し事業の推進を望む。

全体的に言えることだが、マンパワーが足りない。早期退職される職員の方、4月から県に出向される職員も数名おられると聞く、職員の不足は深刻な問題であり、町民に対するサービス業務の停滞は許されないことから、早急な対策を講じられたい。

○健康増進課

町民憲章にある「健康で明るい町」を目指し、令和8年度の新規事業は、1. 中学生健診後の16～18歳健診の実施
2. がん患者へのアピアランス事業(がん治療によって外見の変化が生じた患者の方を対象にウィッグ等に補助) 3.

1 か月児健診と産婦健康診査事業の補助
4. 不妊治療の先進医療補助の以上4事業となる。従来から行われている各種健診・人間ドックの補助事業等に加えてより充実したメニューと、地域コミュニティ等へのコミット・保健師の地道な活動等で町民の一層の健康意識の向上を図られたい。

○農林振興課

農林水産業費としては令和7年度から、マイナス24.4%の予算編成となっている。これは主に、団体営土地改良事業、林道橋維持補修費等の事業終了によるものとなっている。

これまでの支援事業の他に、新規事業として、錦町高収益野菜及び工芸作物生産機械施設等導入事業、環境対策として畜舎消毒事業のメニューが追加され農業振興に役立つ事業として評価したい。

令和7年度より追加されている農業経営収入保険掛金助成事業は、気候変動が著しい中、経営安定に寄与していると考ええる。

有害鳥獣対策については、令和8年度において220万円の増加となった。イノシシの猟期内捕獲も支給対象となり、電気柵、威嚇機への補助の充実により、安心して生産ができる環境づくりのため、継続拡充を望む。また隣接の自治体、関係機関との連携強化を図り、有害鳥獣対策に取り組まれたい。

地域の大きな課題として担い手減少、農業従事者の高齢化がある。新規就農の支援事業を設けているが、若い就農者ばかりでなく、多様な担い手の確保、新規移住者の対策が必要と考える。また事業継承の問題な

ど、ソフト事業対策も必要となってきた。

それぞれの支援事業が活用され、活気のある地域振興となるよう期待したい。

○農業委員会

高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなる懸念される中、農地の集約化等に向けた取り組みが必要となる。目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の実現に向け、地域での話し合いや農地バンクを活用した農地の集約化を図りながら、作成した目標地図等のブラッシュアップを進められたい。

農業者年金は、老後の備えとしても重要な制度であるので、積極的な周知、勧誘に努められたい。

米価格の上昇により、小作料等のトラブルが考えられるため、口頭契約を無くす取組及び農地バンク活用に努められたい。

○教育振興課
(学校教育係)

学校教育においては、小中学校のGIGAスクール事業で実施するタブレット1,078台が購入された。

それに伴い、通信機能を増強するため西小学校と中学校にアクセスポイントサービスを取り入れて対応されている。

また、小中学校の入学祝い金や修学旅行費の補助など、学校教育に対し様々な助成を行っている。これからも、子供達の学習・生活環境の整備とともに更なる子供達の学力向上や心身の成長に寄与されたい。

特別支援教育事業では、支援員を小学校10人、中学校4人の合計14人で1人増員して対応。人員の確保ができていると考える。

避難所にもなっている小中学校体育館への空調設備整備工事は、当初予算では未計上であるが、年度内の完了に向け、しっかりと念頭に置きながら進められたい。

(社会教育係)

分館対抗の大会行事も人口数など分館格差が生じており、全ての分館が全種目行事の参加ができなくなっている。町民の要望や現状を踏まえた行事計画が必要と考える。多くの町民の方々が参加できるよう望む。

(給食センター係)

学校給食においては、錦町では、小中学校の給食費の無償化が行われ

ているが、今回、国は小学校給食費の無償化を進め、548人分1人当たり55千円、30,140千円の補助があり公会計となった。学校給食センター費は133,548千円で、学校食材費は59,331千円。保護者の負担はないが、学校給食費の内容については保護者への周知は必要と考える。物価高騰が続いているが、工夫をしていただき、おいしい安全な学校給食の提供を望む。

調査の様子



広域連携へ地域課題共有

球磨郡議議会主催の町村議員研修会が2月6日に、また、下球磨正副議長会主催の研修会が1月23日に開かれた。両研修会とも人吉市議会からも多数が参加し球磨人吉議員が一堂に会した。球磨郡議議会研修会では、会長の金子光喜湯前町議議会議長の挨拶の後、国土交通省参事官の斎藤正徳氏が「国の治水対策、インフラDX等」の演題で、①気候変動を踏まえた国の治水計画 ②川辺川ダムにおける技術的検討のプロセスなどが示され質疑応答が交わされた。下球磨議議会研修会では、荒川孝一錦町議議会議長の会長挨拶の後、県球磨地域振興局の畑中利徳次長による「広域連携による人吉球磨地域の課題解決に向けた取り組み」が講演され、人口減少対策が急務である現状などが指摘され、参加者は熱心にメモを取っていた。

文責 荒川 孝一

錦南部農道開通式

令和8年3月29日、31年の歳月をかけて工事が完了した、人吉市大畑町～錦町一武横山地区を結ぶ、延長9kmの錦南部道路全線開通式が開催された。

錦南部農道の開通により県道錦湯前線のアクセスが可能となり地域の基幹農道として期待されている。

新たな動脈の完成を心待ちにしていた地元関係者は農業振興につながると開通を喜んでいる。

文責 石松 まゆ子



議会のうごき

1月

- 4日 二十歳のつどい
- 5日 全員協議会
- 11日 錦町消防団出初式
- 14日 広報特別委員会
錦町新春の集い
- 19日 定例郡議議会議
- 20日 広報特別委員会
熊本県町村議議会議員研修（オンライン）
- 23日 下球磨町村議議会議員研修
- 28日 例月出納検査（～30日）

2月

- 2日 令和8年第1回臨時会
全員協議会
- 6日 球磨郡町村議議会議員研修
- 7日 にしき産業フェスタ
- 10日 定例郡議議会議
- 15日 一武小創立150周年記念式典
- 16日 健康祈願祭（一武八幡宮）
- 20日 熊本県町村議議会議長会定期総会
人吉下球磨消防組合議議会定例会
- 21日 木上小創立150周年記念式典
- 26日 人吉球磨広域行政組合議議会定例会
健康づくり推進協議会

3月

- 1日 球磨中央高校卒業証書授与式
- 3日 議会運営委員会
全員協議会
- 7日 にしきまちボランティアフェスティバル
- 8日 錦中学校卒業証書授与式
- 10日 令和8年第1回定例会（～17日）
- 18日 3.18人吉航空基地空襲受難者慰霊祭
- 22日 木上小学校卒業証書授与式
- 22日 西・一武小学校卒業証書授与式
- 24日 定例郡議議会議
例月出納検査（～27日）
人吉球磨広域行政組合議議会定例会
- 25日 消防団備品監査
- 27日 熊本県町村監査委員協議会定期総会及び研修会
- 29日 錦南部農道5期地区竣工並びに全線開通式
- 30日 令和8年第2回臨時会

軌跡

3月の錦町議議会定例会も終了し、令和7年度の補正予算、令和8年度の予算も決定しました。国の方針も、規律ある積極財政や制度改革の流れの中で、自治体へ交付される財源も変化をきています。少子高齢化の中にあつて、農業、企業誘致、商工業の問題など、地方自治体の運営は「都会」から離れるほど問題の数が増える様な気がします。

世界に目を向けると、特に中東の原油を取り巻く情勢が混沌としてきました。政府はこれまでの輸送ルートから積み込みを工夫して多様なルート、供給先の確保などで、国民にとって安心できる対応を取り組んでいただきたいものです。ある情報では小型中型のタンカー使用により、パナマ運河を通るルートも確保したとあります。せっかく燃料が安くなるはずが、高値となり、国内では一定の量は確保されましたが、外国からの石油製品の輸入に関しては、不足や値上がりなど不安を感じるところです。

3月、4月といえは卒業式、入学式ですが、議員として式に立ち合わせていただきました。錦中学校の卒業式では遅く希望に満ちた姿を拝見しながら眩しく感じました。小学校の入学式ではまだまだ幼い感じが残る姿を見ながら日々を友達と一緒に学習に遊びに楽しく過ごしてほしいなあと思いました。

次の時代を築く若い人たちが錦町で夢をきちんと描けるように頑張りたいと思います。

文責 谷口 一也

「広報特別委員会」

委員長 早田 和彦
副委員長 谷口 一也

委員 石松まゆ子

竹田農利人

吉田 眞二

議長 荒川 孝一

熊本県球磨郡錦町大字一武一五八七七

TEL0966-3814421